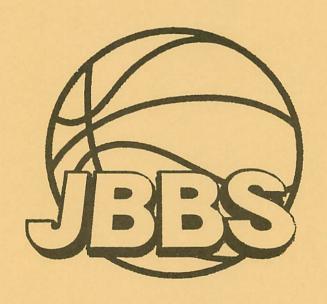
抜粋版

バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No:38



2008年7月

NPO法人 日本バスケットボール振興会

molten[®]
For the real game



For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」 私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに 世界に類のないボールと スポーツエキップメント・メーカーとして つねに完璧な製品づくりを目指しています。

本大会唯一の公式試合球

GL7 国際公認球 検定球 貼り・天然皮革、7号ま



www.molten.co.jp

株式会社 老ルデン 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川5丁目5-7

目 次

0	ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小澤 正博・・・
0	F I B A 女子オリンピック世界最終予選 ・・・・・ 日本代表は敗退	編集部・・・・・
0	オリンピックを戦う12チーム・・・・・・・・ 男女とも決まる	編集部・・・・・ 1
0	バスケットの歴史あれこれ・・・・・・・・・・	編集部・・・・・ 1
O	バスケットボール版・私の履歴書 ・・・・・・・	歴史部・・・・ 1
0	会員だより 私のバスケットボール人生・・・・・・・・・・・	川戸 政角・・・・1
0	日本協会早期正常化を望む ・・・・・・・・・・	編集部 ・・・・ 1
0	振興会の新組織体制 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
0	インターハイ男女組み合わせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
0	訃報・事務局だより ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
0	プラザ こぼればなし・・・・・・・・・・・・	2

る冊子や書籍による広報活動が不足しており、日本協会の情報を書いたものによって全国に広報宣伝することも重要なことと考えるからです。

次に財務体制の強化があげられます。事業活動を更に活発化するには財源的な裏づけが必要であることは明白です。

財務体制強化についてはとりもなおさず収入の増を図ることですが、具体的には以下 に力点をおいて活動してまいります。

ひとつは会費納入の確立です。現在会員でありながら会費の未納者がかなりおられますが、会員である以上自覚を持って会費を納入していただけるよう、会費納入の促進活動を推進します。

しかしながら会費を納入するだけで特典がなければ、やがては退会の方向になってしまいます。会員の特典として各種大会の割引入場ができるよう、関係団体と協議を進めてまいります。

次には会員の増加です。個人会員、法人贊助会員とも新会員獲得に努力してまいります。具体的に個人会員については一役員1名以上獲得を目指し、法人会員については理事長自ら交渉にあたります。

現在会報「バスケットボールプラザ」に有料広告を掲載しておりますが、これら広告 の掲載社の増加を図ります。法人会員になりにくい会社であっても、広告ということで あれば賛同いただける可能性があるからです。広告獲得については編集部と協力して進めていきたいと思います。

次に各団体に対する助成の問題があります。助成については単に金銭的助成だけでは あまり意味がなく、それらの団体と緊密に連携して相互扶助の体制を築いてこそ助成が 生きてくるものと考えます。

知的障害者に対する支援についても、金銭的助成だけでなく、彼らの大会の手助けを するなど、行動面でも協力していく必要があるからです。

以上、基本的なことがらをいくつか掲げましたが、これらを実行していくためには会 員一人ひとりの協力が必要なことはいうまでもありません。

日本のバスケットボールを振興、発展させてこそ、日本の国際的な地位が向上すると 考えます。

今後ともご理解とご協力、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

以上

FIBA女子オリンピック世界最終予選

日本代表は敗退

[編集部]

6月9日からスペインのマドリードで開催された、北京オリンピック世界最終予選で、 日本は予選リーグでセネガルに勝って1勝をあげたが、予選リーグ2試合目にラトビアに 敗れてグループAで第2位となった。

進出した準々決勝でBグループ1位のチェコと対戦したが、力及ばず敗れて敗者復活の 準決勝に回った。敗者復活の準決勝1回戦ではキューバに敗れて念願の北京行き切符は獲 得できなかった。

スペインへ出かけて実際に観戦した人の話では、日本のプレイのかなりの部分が相手に 分析されていて、武器である3Pシュートもまともには打たせてもらえなかったという。

しかしながら、ヨーロッパのチームに対して全く歯が立たなかったわけではなく、やり 方次第では世界最終予選で勝ち残れる見通しがないわけではなさそうだ。今回、男女とも オリンピック出場を逃がしてしまったが、4年後を見据えてしっかりと強化を進めていく ことが必要となった。それにはまず日本協会の正常化が先決問題であろう。

予選ラウンド: 1回戦

第1ピリオド

日本は#14田中の3Pシュートで先制、その後セネガルが連続ジャンプシュートで逆転するが、日本も#5小磯がバスケットカウントを決めて9-6とリードする。日本は一時得点が止まるが、交替した#4相澤が3Pを決めて流れを引き寄せる。残り12秒で#10矢野が3Pを決めて22-19の3点リードで終わる。

第2ピリオド

開始早々、日本は#5小磯のゴール下シュートが決まって24-19とする。日本はここからセネガルのドライブインをマークして4分間無得点に抑える。残り4分から#10矢野の3P、#13大神らのシュートが決まり、残1分には38-27と一気に点差を広げ前半を終わって39-27と日本がリードする。

第3ピリオド

後半早々#13大神がスティールから速攻を決めて41-27とする。しかしセネガル もハイポストあたりから連続してシュートを決め、2分を経過したところで41-31と 再び10点差になる。しばらく得点が止まっていた日本は、#14田中のバスケットカウ ントで44-31としたが、セネガルも3Pを決めて44-34と譲らない。徐々にセネ ガルのディフェンスが激しさを増し、攻守のリズムも激しく入れ替わる。残り1分日本は#7石川が連続得点し、残り16秒には#10矢野がフリースローを決めて59-47として最終ピリオドへ。

第4ピリオド

開始からこう着状態だったが、2分をすぎたあたりからセネガルがジャンプシュートを 皮切りに怒涛の攻撃を仕掛ける。日本のミスも重なって残り6分に59-57の2点差に 迫られる。日本はタイムアウト後もミスが続き、残り3分半には63-63の同点に追い つかれる。日本は#13大神の連続得点でしのぐがセネガルも連続シュートで対抗する。 残り32秒ゴール下でノーマークとなった#5小磯へ#10矢野からパスがとおり、71 -69と日本が勝ち越してきわどいゲームを勝利した。

予選ラウンド: 2回戦

第1ピリオド

日本はラトビアに先制点を許すが、直後に#8三谷の3Pシュート、#5小磯がフックシュートで対抗する。日本は高さを意識してかシュートミスが続くが、ディフェンスの速い寄りとリバウンドを死守して食らいつく。最後は#15内海の残り0秒のシュートが相手ファウルを誘い、フリースローを決めて19-20の1点差で終わる。

第2ピリオド

日本は第1ピリオド終盤から使い始めた2-1-2ゾーンをアジャストされ、ラトビアの3Pシュートなどが立て続けに決まり、20-27と引き離される。ディフェンスをマンツーマンに戻した日本は、#4相澤、#8三谷が3Pシュートなどを決め33-34とする。その後も激しいディフェンスでリズムをつかむと、#4相澤から#5小磯へ絶妙なパスがとおったり、#7石川のシュートなどで対抗した。しかし終盤日本のファウルがかさんで相手にフリースローを与え、37-41の4点ビハインドで前半を終える。

第3ピリオド

日本は#10矢野が連続で3Pを決め、残り7分に46-43と逆転に成功。ラトビアもインサイドにボールを集めて再逆転する。日本は#12吉田が相手の高さをかいくぐって連続してインサイドへの切れ込み、5分を過ぎたところで50-52と迫る。その後ラトビアが速攻から得点し残り3分に56-52とラトビアリードとなる。タイムアウト後日本は#10矢野の3Pシュート、#6矢代のアシストから#12吉田の連続得点で一気に逆転し、61-58の3点リードで最終ピリオドへ。

第4ピリオド

開始早々ラトビアの連続シュートで逆転される。日本は#10矢野の6本目となる3Pシュートで再逆転する。しばらくこう着状態がつづくが日本のミスから速攻を許し64ー68と逆転される。日本はラトビアのイン・アウトのバランスよいオフェンスに苦しめら

れながらも、#7石川のドライブインでファウルをもらいフリースローを決めてつなぐ。 残り4分半#6矢代のステップインで69-71と迫ったが、ここからミスを連発して失速。

日本は最後までボールに食らいつくが、ラトビアも冷静にこれをかわし、結局69-83 でラトビアに勝利を許す。

以上の対戦成績から日本はグループAの第2位が決定し、次の準々決勝でグループBの第1位チェコと対戦することとなった。

予選ラウンドの成績

グループ	1 位	2位	3位
Α	ラトビア	日本	セネガル
В	チェコ	アンゴラ	アルゼンチン
С	ブラジル	スペイン	フィジー
D	キューバ	ベラルーシ	チャイニーズタイペイ

準々決勝

準々決勝は各グループの1位と2位がたすきがけに対戦し、ここで勝った4チームにオリンピック出場権が与えられる。日本はチェコと対戦、平均身長差が8cm下回る日本は出だしでリードしたが相手の高さに苦しめられ、次の準決勝へ回ることとなる。

チェコ O
$$\begin{pmatrix} 16-21\\11-5\\23-15\\26-23 \end{pmatrix}$$
 ● 日本

第1ピリオド

開始早々チェコがゴール下のシュートを決めて先行。日本もすぐに#14田中が入れ返す。チェコの高さに対抗する日本は、果敢にドライブインで攻め、リバウンドでも頑張って残り5分に#13大神のジャンプシュートで10-7とリードする。日本の必死のディフェンスにチェコのシュートが落ち6分間無得点に抑えたが、終盤日本のターンオーバーからの得点などで追い上げられ、21-16の5点リードで終わる。

第2ピリオド

チェコは連続得点で21-20とすぐに追いつく。この後日本はミスが続きオフェンスのリズムが悪い。3分を過ぎたところで#13大神のシュートでようやく得点、その後こう着状態となり、なかなか得点が伸びない。残り4分#13大神が3Pシュートを決めるが、チェコも3Pシュートで対抗。終盤日本にミスが続きその隙にチェコが速攻を決めて、26-27と逆転されて前半を終わる。

第3ピリオド

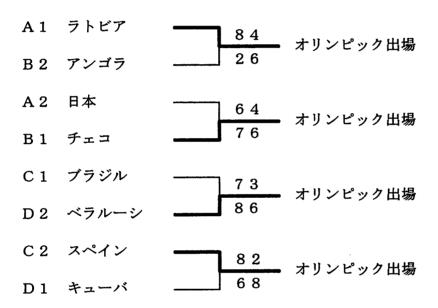
徐々に日本のディフェンスが甘くなり、ミスも重なってチェコの猛攻を許し残り7分で

28-38の10点差となってしまう。日本はインサイドにもボールが入らず、#14田中や#13大神のシュートが単発で決まるだけとなった。結局差を詰めることができずに41-50の9点ビハインドで終了。

第4ピリオド

日本はビハインドを追って必死に粘る。#5小磯がインサイドに切れ込んでつなぐが、 チェコの高さに苦しんで攻撃のリズムが作れず、残り6分で49-61となり後半2回目 のタイムアウト。その後#8三谷の3Pシュートや#5小磯のアシストから#13大神が ジャンプシュートを決めて54-61と追い上げる。ディフェンスでもオールコートプレ スで相手を苦しめるが、高さには抗しようがなく徐々に点差が離れる。日本は必死の追い 上げも実らず64-76の点差で敗れた。

準々決勝結果:



敗者復活戦準決勝:

準決勝は、準々決勝で敗れた4チームがトーナメント方式により戦い、残りひとつのオリンピック出場枠を争う過酷な競技方法で行われ、日本は最初にキューバと対戦した。

第1ピリオド

日本は#5小磯のフックシュートで先制するが、キューバもすぐに入れ返す。序盤は入れあいとなり一進一退の攻防が続く。日本は#8三谷や#10矢野が3Pシュートを決めるがキューバも高さを生かして得点し、18-21とキューバがリードして終わる。

第2ピリオド

日本はキューバのリバウンドに対応できず苦しむ。オフェンスでもインサイドにボールが入らず、なかなかシュートチャンスが作れない。残り5分キューバの3Pシュートが決まって20-29と点差が開く。この後日本はミスもでてキューバに速攻を許し、残り1分半には24-35となり、結局26-37とキューバがリードして終わる。

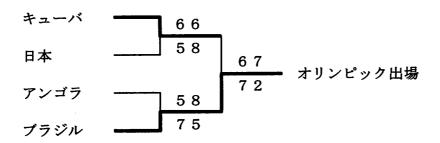
第3ピリオド

11点のビハインドを追う日本は#10矢野の3Pシュートや#5小磯のゴール下シュートなどで追い上げるが、リバウンドを支配されて点差を詰めるにはいたらず、残り4分にタイムアウト。タイムアウト後もパスミスやディフェンスのミスなどが続き、残り2分に35-51と引き離される。残り1分#4相澤の3Pシュートが決まり、オールコートディフェンスで相手のミスを誘い、終了間際に#7石川が3Pシュートを決めて43-53で最終ピリオドへ。

第4ピリオド

追い上げたい日本だがキューバの連続シュートで43-57と引き離される。しかし、 必死のリバウンドから#8矢代のバスケットカウント、#13大神のジャンプシュート、 #11山田のゴール下シュートなどで、残り4分半に54-59と猛迫する。キューバタ イムアウトの後、必死のディフェンスから#12吉田、#11山田らがシュートを決め、 残り3分で58-59の1点差まで詰め寄る。その後も必死のリバウンドなどでチャンス をつかむが得点にはいたらず、ルーズボールの負けやミスなどで相手に得点されて逆転す ることができず、結局58-66で敗れた。これで日本の北京オリンピック出場の夢は消 え去った。

敗者復活・準決勝・決勝:



<今後に向かって>

残念ながら北京オリンピック出場はならなかったが、4年後のロンドンへ向けて今回の 結果を分析反省してすぐにでも次のステップへ進む必要があろう。

今回の結果からみてもヨーロッパのチームに対して、全く歯が立たなかったわけではない。ゲームの最初は互角に戦えても後半になるとどのゲームでも同じようにミスが多くなる傾向など、分析して対策を講じる点もかなりあると感じる。日本協会の強化部門で早急に検討し、4年後を見据えた対応策をまとめることを願う。

一例をあげれば、テレビなどで観戦された方は感じられたことと思うが、日本の敗因の ひとつに高さ対策とターンオーバー(ミスの総称)の多さがあげられる。ターンオーバー のうちもっとも目立ったのはトラベリングの判定で、国際的に見てFIBAの審判と日本の審判との間に判定基準の相違があるように思える。

トラベリングについて言えば、ここ数年間ルールは変わっていないのに国内の試合において判定が甘くなってはいないだろうか。選手は国内でプレイする長い間、日本国内の判定基準に沿ってステップを身につけているので、国際試合になったから急に対応を変えるといわれてもそれは難しいだろう。

今回、日本代表チームのターンオーバーのデータをみると、他のチームより1試合平均 数個以上多い。日本国内で通用したステップがトラベリングと判定され、相手に得点の機 会を与えてしまった面も否めない。

近年、日本国内女子のゲームはスピードがあり、その分判定が甘くなって、攻撃時にパスを受けたときのステップからのドライブインなどが、正しい基準で判定されていないのではなかろうか。

日本の審判は、その技術レベルにおいて国際的にも評価されているという。しかしながら、それは全審判員のうちごく一部の審判員に過ぎない。日常から国際的な基準に沿った判定基準の確立と徹底を図り、国内のどのゲームにおいても統一した判定が確立されることを願う。

リバウンドとターンオーバーのデータ

セネガル戦

	ターンオーバー	リバウンド
日本	2 0	3 7
セネガル	1 2	3 6

ラトビア戦

	ターンオーバー	リバウンド
日本	1 4	3 1
ラトビア	1 6	4 0

チェコ戦

	ターンオーバー	リバウンド
日本	1 6	3 1
チェコ	1 1	4 4

キューバ戦

	ターンオーバー	リバウンド
日本	2 0	3 6
キューバ	1 5	4 3



北京オリンピックを戦う12チーム 男女共決まる

日本は出場できないが、この程男子世界最終予選がアテネで開催され、オリンピックに出場 する男女各12チームが決まった。

ちなみにアジア代表は、男子がイラン、女子は韓国が出場する。

男子

〈出場権獲得大会〉 〈出場国〉 2006 世界選手権 スペイン 2007 アフリカ選手権 アンゴラ 2007 アジア選手権 イラン アメリカ合衆国 2007 アメリカ選手権 アルゼンチン ロシア 2007 ヨーロッパ選手権 リトアニア オーストラリア 2007 オセアニア選手権 ギリシャ 世界最終予選 クロアチア ドイツ 開催国 中 国

女 子

〈出場権獲得大会〉 〈出場国〉 2006 世界選手権 オーストラリア 2007 アフリカ選手権 2007 アジア選手権 玉 鹼 アメリカ合衆国 2007 アメリカ選手権 ロシア 2007 ヨーロッパ選手権 ニュージーランド 2007 オセアニア選手権 ラトビア ベラルーシ チェコ 世界最終予選 スペイン ブラジル 開催国 中 国

バスケットの歴史あれこれ

[編集部]

1. 58年前、ハワイAJAが来日するまでボールは丸くなかった?

終戦後、昭和20年代後半までボールやシューズなどの運道具類が極端に不足し、やっと国産ゴム製のチューブに牛革の覆いをかぶせたボールが出回るが、牛革の覆いを糸で縫いつないでいたので全体的には楕円形になってしまい、バウンドも良くなくボールによっても差が出たりして、本当に丸いボールとは程違い時期があった。

そんな中、昭和25年(1950)3月、終戦後の日本スポーツ界にとって戦後初めての国際親善バスケットボール試合が、ハワイAJAオールスターチームを迎えて日本各地で大観衆を集めて行われた。

当時ハワイAJAと対戦した日本選抜チームの選手の中に、現在振興会会員の方がおられるのでご紹介する。

全日本チーム 監督 牧山圭秀氏(早大〇B)故人

選手 F 関口荘次氏(教育大)

G 池田 博氏 (東大/日本鋼管)

全日本学生軍 選手 F 関口荘次氏(教育大)

G 大塚周一氏(早大)

神戸学士クラブ 選手 G 住田正二氏(東大OB)

ハワイAJAは、ドリブルの巧みさとスピードある速攻から繰り出す華麗なワンハンドミドルシュートなどの技術格差で、対戦した日本チームを圧倒し、8戦全勝を収めて帰国した。

日本のバスケットボール界は、戦争で中断していたブランクから本場の進歩したバスケットボールを目のあたりにしてショックを受け、大きな影響を受けたことは今でも語り草になっている。

当時彼らが持参したアメリカ製のボールが、その後日本のバスケットボール用具の発展に大変な影響を及ぼしたことは、あまり知られていないようである。以下当事のボールに関する興味ある記事があるので原文に沿ってご紹介する。

2. 「ほんとに丸い縫い目なしのボール、国体のバスケットに使用」

—— 昭和25年9月 ——

ボールとは丸いものと昔から決まっているが、今度の国体のバスケットボール競技にはじめて本当に丸いボールが出現した。今春ハワイチームが来征したとき、彼らが日本のボールを手にして「これではドリブルなどができるものではない、片手のシュートは無理だ」と言った。

それは日本のボールが皮を縫合して、その中にゴムのチューブが入っているので縫い目の加減や皮の伸び縮みでイビツになるのに反して、米国製のボールは縫い目も全くないゴムボールの上に皮が貼ってあったものだったからである。なるほどこのボールなら完全にボールから目

を離しても自由にドリブルができるわけである。

日本バスケットボール協会では、ハワイチームから試合に使用したボール1個を譲り受けて 美津濃運動具店で研究にあたらせた。美津濃でこのボールを解剖した結果、技術的にもっとも むずかしいのはゴムボールに皮を貼り付ける接着剤の質と目方の点であった。

そこでこのゴムだけのボールを夏ごろから作成したが、これはほとんど皮のボールと狂いもなく、価格も大体靴と同じく千円程度となり、これによって高校や大学などでドリブルなどのボールハンドリングが格段によくなった。最近になって皮とゴムの接着剤が完成して、本格的なボールが出現した。

このボールはまずゴムの中心となるボールを作り、これを絹布、綿布、絹布と三段に重ね、 野球のボールと同様に糸でしっかりとこれを包み、さらにゴムを貼り、皮を貼ったものに空気 を入れる。バルブも非常に進化し、米国製と同様、一度空気を入れると4日から6日まで保つ ことが出来る。今までと違って使用しないときも空気を抜き取らずにおいておくのである。

単価は2千9百円でちょっと高いが、米国のボールが10ドルから20ドル(当時1ドル360円)であるから、むしろ安いわけである。だが練習用には裏皮を使った2千円程度のボールも試作中である。

この種の本格的ボールの出現によってボール界には革命が起こったわけで、今後のバスケットボールの技術的進歩にも大いに役立つことになる。

3. 日本代表パスケットボールチームのオリンピック初参加

北京オリンピックも開幕間近となってきたが、残念なことに日本のバスケットボールは男女とも出場ができなくさびしい限りである。本誌第35号においてベルリンオリンピックに出場した記事を掲載したが、その後当時の状況や成績を掲載した専門誌が入手できたので、原文のままご紹介する。

ベルリンオリンピックはオリンピックとして第11回目に当たり、日本の男子代表チームが 初めて参加した大会である。

専門誌を発行したのは、東京神田小川町にあった「運動社」で、"籠球日本"という誌名の冊子。次ページに掲載するのは、その第1巻 第2号で昭和11年7月に発行されたもの。 記事の見出しが「オリムピック籠球競技」となっているのも面白い。

球 競 ピ 力 IJ 技 才 山 ツ

組合の結果はNO」、アメリカを の彼ではなく少くともアメリカに 退して了つたのは残念だつた、併 期待されるに至つたのも束の間第 関との一眼をもあわよくばとさえ 第二回戦にポーランドに勝つて米 戦に宿敵中華と合ひ之を撃破し、 が第三位は確實、然も豫理第一回 そのアメリカと准決時で合ふこと 唯一の目標としてゐた我チームは いよく~オリムピフクが開始され 姿容 きされたわけであつた。 ぬが し、オリムピックでの活躍を充分 - ムにも三十三對 - 二十八で快勝 アで大勝し、絞いてハンガリーチ を行ひ、六十九對六の壓倒的スコ ン到着後ドイツチームと練習試合 クにはアメリカを倒して供界側断 位を窺ふに足るものであることが 我チームの質力は決してその結果 になり、郊二位は窓めなくなつた 分る。今後衛士重米路一居の精鎖 し賭試合の結果を綜合してみるに を続けて來るべき東京オリムピッ 吹いでカナダ、メャシコ您と第一 三戰の對メキシコ職に拙戦して敗 一位を期待してゐた日本はベルリ

遂ひに林了し、覇権は豫組通りて メリカが持つて行つて了つた。第 待筮のオリムピツク臨球競技も 配する。

●第二回戦 Ħ ウルガイ 8--3 エジプト 比 岛32 ラトヴィア20 ---17 ウルガイ カナダダ---- ブラジル ペルー 85--22 エジプト エストニア84 比 五・六位決定戦 Ħ 米伊ベ カ メキシコ 82---13 ベルギー 太利 y チ ダ ij 1 島 81 --- 28 ウルガイ 1 四 本 85 19 四 25 | 本 48 —— E1 図 52 --- 28 エストロン 利 56 29 16 21 ド 中 イ ッ 20 80 89-28・ラトヴィア 25 --- 18 チェッコ 16 I 18 18 ブラジル ポーラード メキシコ 一 耳 古 閣 ◇後半 日本旗取に攻め、中華幸 由投前田の二野投等で15 ―― 6十 ドを奪ひ更に十七分鹿子木の一自 には28--- 15十八分には88---19 ミットされ中江入る、 共後十五分 日本軍中郡のマーク惡いのに乗じ は前田ロングシュートに得點を加 (紹)四反則でオミットさる日本頃 野投を極めた。 九分中遊はロングバスから運行 ルを決めて、9 ―― 6と再びリー 投を決めた。 分20---12と開く十一分鹿子木オ よく球を廻し空談ゴールをあげ上 となりタイムアップ前松井二自山 へ七分には宗像入り李退く、更に

次ぎに我が日本軍の對政肥錢を詳 アメリカ19--8 カナダ 決 躃 戦 メキシコ 26 --- 12 三•四位狄定戰 ポーランド

を先取されたが被山直ちに二自山 山の一自由投で5---2とリード 投で返し更に学(性)のゴールと機 三分中華RG李(紹)の活躍に得點 十分中華は速攻で逆に6――5と 日本86 2015 19 中華 **附軍旗政に戦を進めたが**

の体薬を待定するものである。

左にオリムピック甑球競技の剣

明せる分の配録を載せて聞く。

移點を加へ30 ―― 15 とリード、共 ◇後半 日本益々好調を頂ね務々 15から40 ---- 81となり結局日本リ の後一進:退阿軍役跡を取ね85ー パレ33-18と前半を終る。 アップ前二、三分で日本巡祝ゴー 追撃鋭く16 --- 18 と迫る、タイム 五分10對日とリードしたが波崩る ◇前半 我が軍好調にスタート小

[# 本] 関) [波 メ アシコ 28 1216 點反 反站 15 1 4 1 2 0 4 3 2 8 9 2 7 0 1 10 8 0 1 6 スフロ 中庭松宗 江木井像 1 4 148 22 日本 1 2 Ú 2 G 張 FG FT 12 9 19 5 7 33 43 19

ドしたが10分頃からメキショのフ 子木のゴールで8分7~0とリー ◇前半 日本細かく攻め中江、庭 オロー良く7ー6と追撃されな分 には8~8と逆にメキシコのリー [日本] 【メキシコ】 2 18 8 C 3 1 李 井像 2 2 28 8 9 22

Ħ

関

ドとなる日本は只球を廻すのみで シュートセナメキシコのシュート 粉々ゴールし8 12 とゾキンコリ FG FT 01 8 8

卷 第

と巻を3點に縮めたがメキシコ又 れ18分には15-20その後松井のロ 追奪を殺けたがメキシコも良く入 ◇後半 日本は横山、宗像を入れ ードの低ハーフタイム。 ばメキシコ叉入れるといつた具合 **最後のスパートで前田→反則のた** 野投、自山投を入れ7~28となり で総に22~28で日本情敗す。 め退場させられる、日本が入れし ングシュート見事に極まり17―20

リードしたが十五分積山よくゴー

ードを保つて勝つ。

昭和十一年七月十日中華

バスケットボール版・私の履歴書

[歴史部]

振興会に所属され、バスケットボール界でも大先輩の方々のバスケットボール界における履 歴について、このほどシリーズにして掲載していくことになった。

明治41年(1908)東京YMCAの体育主事としてアメリカから帰国した大森兵蔵氏が、YMCAの奥庭にバスケットボールコートを設置してバスケットの指導をはじめてから今年でちょうど 100年になる。

歴史部会の前身、歴史編纂プロジェクトが平成13年1月に会員に呼びかけて、この100年間のうちの50年間ないしは75年間にわたり、バスケットボールを愛好した方々からバスケットに関わった記録を収集した。その後歴史部で種々検討した結果、これらの歴史をバスケットボール版「私の履歴書」として、会員の方々にご紹介した方がよいとの結論に達し、以後箇条書きの形でシリーズ物として本誌上にて皆さんにご紹介していく。

中野富郎氏

バスケットボールとの初めての出会い

小学校6年生の時、先生方が紅白に分かれバスケットの試合をしていた。父が小学校の校長だったので、常にバスケットを眺めていた。

学生時代のバスケットボール

日大時代2部にあり、常に1部昇格を目指して励んで来た。1部昇格時に、牧山圭秀氏を迎えてバスケットを教わったこと。

社会人時代のバスケットボール

熊谷組が実業団に加盟し7部から1部に昇格した。加盟した時から連盟の理事に加えられ、組織人として行動出来た。東京代表として国体に出場し、静岡、東京と2度優勝したこと。大阪には2度敗れた。

バスケットボールを通じて感銘を受けたこと

バスケット人と交流を持てた事。(組織人として)富士秀雄、黒川義雄、森井長太郎、笹岡太一 の各氏。

(チーム対戦) 加島義一、辻光秀、下間光雄、成合曻の各氏。

(人間として) 横山堅七、田中秀次郎の各氏。

国際大会

東京オリンピック施設副委員長として丸山正敬氏と共に働いたこと。

提言、将来の希望や夢など

JBLは発展していくことを望むが、JBLの独走は如何なものか? その他

代々木第一体育館をバスケット専用とするべきと思うが如何?

野口昌三氏

バスケットボールとの初めての出会い

昭和20年8月15日終戦。佐賀県立佐賀中学校(旧制)3年生。

体育館は米軍に接収され、米兵がバスケットボールを楽しんでいるのを見て興味を覚え、一緒 に遊ばせて貰う。学校でも体育の正課として取り入れられ、本格的にバスケットボールを始め る。

学生時代のバスケットボール

昭和23年第3回国民体育大会(高校)準優勝。

昭和28年度(東京教育大学主将)関東大学選手権大会優勝。関東大学リーグ戦優勝。インターカレッジ優勝。全日本総合選手権大会優勝。当時はメジャースポーツ。両国メモリアルホールが常に満杯(学生リーグ戦)。

社会人時代のバスケットボール

昭和29年4月田辺製薬(株)入社。国民体育大会(札幌)一般優勝(大阪代表主力)

昭和30年近畿総合選手権大会優勝。国民体育大会(神奈川)一般優勝(大阪代表主力)

昭和31年全日本実業団大会 対日本鋼管33-39で惜敗。

(その他)日本協会、関東実業団連盟、日本実業団連盟、日本学生連盟、関東大学連盟、東京 都協会、各理事

バスケットボールを通じて感銘を受けたこと

東京教育大学で小澤久男先生、吉井四郎先生との出会い。糸山隆司君とコンビを組んだこと。 田辺製薬で高校時代のコンビ武蔵栄吉氏と再度コンビを組み。多くの試合で優勝。現在も親交 を保っていること。

国際大会

昭和27年ハーレム・グローブトロッターズ戦に全関東学生チームの一員として出場、最初の 得点(フリー・スロー)。

昭和28年東南アジア選手権大会 (バンコック) 出場。

フィリッピンYCOチームに東京教育大学単独チームで63-59で勝ったこと。

昭和29年第2回アジア大会(マニラ)出場、銅メダル。

提言、将来の希望や夢など

日本協会組織の確立と強化。

メジャースポーツへの努力。

企業チームの再検討(JBL、WJBL)と実連との関係改善。

バスケット界〇B(長老)への配慮、元老の扱いが不充分。

日本人の指導者の育成(日本チームの指導は日本人で。日本型バスケットの見直し)

REUSE を考える [環境の総合情報商社]

"地球にやさしく" どこかで見たような聞いたような言葉。 あなたはリサイクルに関心を持っていますか?

"地球環境をこれ以上汚したくない"これが私たちの願いであるとともに、人類に課せられた大きな課題です。

当社は携帯電話やパソコンなど、鉄を除いた金属(レアメタル)の回収、再生(リサイクル)を主な業務にしている会社です。

日本のバスケットボールの振興、発展を応援します。

リユース・ビズテック 株式会社

T333-0842

埼玉県川口市前川2-33-1

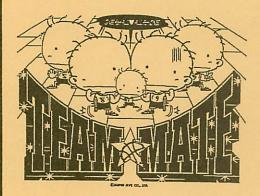
TEL 048-263-7023 FAX 048-269-8009

代表取締役 永野 鉄洋

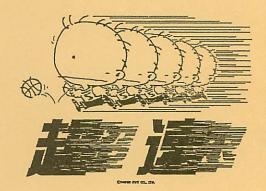




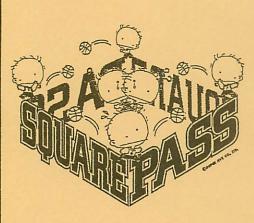








DUPER。 表現。自由人。















DUPER.

URL: http://www.duper.co.jp

デューパーファイブ株式会社 〒130-0023 東京都墨田区立川3-3-5 TEL . (03)3632-7045 (代表) FAX. (03)3632-8327

E-mail: info@duper.co.jp